

看護師特定行為研修


袖ヶ浦さつき台病院 研修センター 2017.7



29年度、4名の受講者でスタートした特定行為研修は、共通科目の4科目が終わりました。研修者4名はそれぞれ所属が違い、センターとしてどうしたら充実した研修になるかを検討する日々です。社会人でもあり同職者でもあるためか、1ヶ月に1回の演習日には、顔を合わせられる貴重な1日となり、相互の情報交換やお互いを励ましあったりしています。

【授業の形態:通信教育】

センターから1科目分の印刷教材を配布→1週間区切りの期限までにメールで回答をを提出→評価・添削し受講者にメールで送信(1科目を3回に分けて取り組む)→課題レポート終了後→演習・科目修了試験(センターで実施) 研修実施責任者:栗原



フィジカルアセスメントの講義・演習風景。昨年度の修了者や院内のエキスパートナースも聴講 7/1

【特定看護師の活動状況】

28年度、研修を修了した特定看護師は、精神科を中心に活動を始めています。自立した活動へ向かえるよう日々医師の指導を受けながら下記のようなことを実践しています。

□ コンサルテーション

不眠・不穏時の頓服薬の使用方法について、精神科以外の診療科も対応

□ 精神科外来での健康相談

医師の診察前の、基本的な日常生活の状況を情報収集し介入

□ 特養や介護老人保健施設での活動

入所者の様子の観察や職員からの情報収集により、臨時処方薬の調整を目標に医師に同行し訪問開始